

# 周年行事 報告

今年度、保谷第一小学校(10月27日(金))、保谷第二小学校(11月17日(金))、東伏見小学校(11月24日(金))において左記のとおり周年記念式典が行われました。

**保谷第一小60周年**  
～昭和22年3月開校～

周年記念マスケットキャラクタをシンボルにして、児童から募集して作成した記念歌「一子どもマーチ」を、全児童で歌い式典を盛り上げました。地域に親しみ、地域で育つ保谷第一小学校の様子が記念誌にも表現されています。

**保谷第二小60周年**  
～昭和22年3月開校～

記念事業として、校地内に「ピオトープ」を整備し、式典終了後に出席者へ披露されました。この「ピオトープ」は、地域や保護者の方々のご協力により作製され、式典当日の披露には、魚の放流も行われました。その他玄関入口の「身障者用スロープ」が田無工業高校の生徒のボランティアにより作製されるなど、地域に支えられ、地域とともに歩む学校であることをうかがうことができました。

**東伏見小50周年**  
昭和31年7月開校

記念事業として、校地内に「ピオトープ」を整備し、本校のシンボルでもある「くじら山」をモチーフとした周年記念シンボルマークやオリジナル記念歌「信じる力」が式典で披露され、多くの出席者が感動している様子が印象的でした。

地域の育成会や児童館と連携した体験学習を行い、地域とともに児童の豊かな心の育成を推進されている成果をうかがうことができました。

指導課(内線2636)

# 特別支援教育に向けた取り組み

特別支援教育は、従来の心身障害教育(特殊教育)の対象の障害だけでなく、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症等を含め障害のある児童・生徒の教育ニーズに対して適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う

## 校内体制の整備

LD、ADHD、高機能自閉症等を含め障害のある児童・生徒や保護者のニーズに対応するため、小中学校において、校内委員会を設置し、特別支援教育コーディネーターを指名するなど、特別支援教育に向けた校内体制を整備しています。

東京都の計画では、平成19年度までに、すべての小・中学校において「校内委員会」を設置するとともに、「特別支援教育コーディネーター」を指名するものとされています。

### 校内委員会

校内委員会は、特別な教育的支援を必要としている児童・生徒への対応を校内全体で支援するために中心的な役割を果たすものです。



新設されたピオトープに魚を放す児童の様子

教育のことです。

前号では、心身障害教育から特別支援教育への転換に向けた考え方について掲載しましたが、今回は西東京市の特別支援教育に向けた取り組みについて説明します。

西東京市立学校においては、今年度から新規に設置したり既存の校務分掌に位置付けて小学校19校、中学校9校の全校で、校内委員会を設置しています。

### 役割

学習面や行動面で特別な教育的支援が必要な児童・生徒に早期に気づくこと。特別な教育的支援が必要な児童・生徒の実態把握をして、その支援方法を検討すること。支援方法を講じるために、家庭や関係機関と連携を図ること。特別な教育的支援が必要な児童・生徒への指導とその保護者との連携について、職員の共通理解を図ること。保護者相談の窓口になるとともに、理解推進の中心となることなど。

## 特別支援教育 コーディネーター

特別支援教育コーディネーターは、校内の関係者や関係機関等と連携を図り、LD、ADHD、高機能自閉症等を含め障害のある児童・生徒やその保護者のニーズを踏まえて、教育的支援策を調整するなど、校内における特別支援教育に関するコーディネーター的な役割を担います。西東京市立学校においては、小学校19校、中学校9校の全校で、教員の中から校長が指名し、

校務分掌上に位置付けています。また、市教育委員会では、各校の特別支援教育コーディネーターに対して研修を実施し、都立養護学校の特別支援教育コーディネーターと連携を図っています。

### 役割

校内委員会のための情報収集や準備をすること。関係機関へ相談をする際の連絡調整を行うこと。保護者に対する相談窓口の一人となることなど。



学習活動の様子(写真は文中とは関係ありません)

## その他の取り組み

国の中央教育審議会の答申、東京都の特別支援教育推進計画やガイドライン等を踏まえ、次のような取り組みについて検討します。

長期的な視点で個に応じた教育を推進するために、「個別指導計画」「個別の教育支援計画」を作成すること。就学前機関での子どもたちの様子や指導の状況を、小学校等へ情報を引き継ぎ、就学後の学校生活がより良くなるように、「就学支援シート」を導入すること。盲・ろう・養護学校へ就学し



# 学校紹介 ④

## 保谷第二小学校

本校は、西東京市の最も南に位置する学校です。今年度、創立60周年を迎え、11月には記念式典を開催いたしました。本校の大きな特色の一つは、保護者・地域の方々にとくさんのご協力をいただいで、教育活動を進めているところです。例えば、「児童下校時の安心ボランティア」「家庭科や生活科などへの授業支援」「毎月の清掃ボランティア」「読み聞かせ活動」等々です。昨年の夏には、多くの方々にご協力をいただいで池を掘り、ピオトープを創り上げました。その他にも、地域の農家のご協力をいただき、学校農園で育てた野菜を、給食に活用しています。また、隣接す

保谷第二小学校校長 熊澤 義夫



保護者の方々による読み聞かせ活動

## ひばりが丘中学校

本校は、積み上げていく指導で、「確かな学力錬成」と「豊かな人間形成」を目指しています。平成16年度には、教育課程の全面改訂 授業改善推進プランの策定 校務分掌組織の全面改編を行い、翌年度からその定着を図っています。

根本 茂樹

「確かな学力の錬成」の面では、授業改善推進プランの中で全必修教科ごとに「卒業時の到達学習スキル」を設定し育成しています。平成17年度からは、教員の指導力の向上を図るため、近隣6小学校との合同研修会本校全教員の授業相互公開研修を実施しています。また平成18年度からは、全学年で「朝読書」に取り組んでいます。「豊かな人間形成」の面では、平成16年度から近隣のデイサービスや保育園のご支援をいただき、「夏季休業中のボランティア



保育園でのボランティア活動の様子